

## 感覚はずむ暗闇エンターテイメント「対話のある家」 好評の新春プログラム「真っ暗の中の書初め」を開催 暗闇で気づく体験価値に、約9割の体験者が「また来たい」

積水ハウス株式会社とダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン（本社：東京都中央区、代表：志村真介）は、「住ムフムラボ」（グランフロント大阪）にて、暗闇エンターテイメント「対話のある家」第28回新春プログラムを、2020年1月6日（月）から1月27日（月）まで開催します。開催に先立ち、12月5日（木）正午よりWEBでのチケット先行販売を開始します。

### ■目以外の何かでもものを見たことがありますか？

暗闇で気づく価値に、約9割の体験者が「また来たい」と回答

ダイアログ・イン・ザ・ダーク（以下、DID）は、視覚障がい者の案内により、完全に光を遮断した“純度100%の暗闇”の中で、視覚以外の様々な感覚やコミュニケーションを楽しむソーシャル・エンターテイメントです。これまで世界41カ国以上で開催され、800万人を超える人々が体験しています。

暗闇での体験を通して、人と人とのかかわりやあたたかさ、“対話”の大切さ、五感の豊かさを感じるなど、DIDの魅力は体験した人にしかわからない体験価値にあり、「対話のある家」の体験者アンケートでは「また来たい」が86%、体験者数も20,000人を超えるなど、高い人気を得ています。



### ■年の始めに暗闇で感覚を研ぎ澄ます新体験を。 これをしないと新しい年は始まらない

例年好評を得ている新春プログラムは「真っ暗の中の書初め」。どんなに目をこらしても全く見えない世界での“対話”は、新しい年をどのように過ごしたいかについて、自分自身に新たな発見をもたらすでしょう。

### ■「家族」「家」がテーマの世界唯一のダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」

積水ハウスでは、「『わが家』を世界一 幸せな場所にする」というビジョン実現に“対話”は必要不可欠と考えています。「対話のある家」は、積水ハウスとダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパンの思いを実現する共創プログラムです。

SNSを通じたコミュニケーションだけではなく、もう一歩踏みこんだ人と人とのリアルな繋がりを見つめ直すこと。参加者が「家族」として広く語り合い、その根底にある「絆」の存在と大切さを再認識できる機会の提供となることを目指しています。

【本件についてのお問合せ】 積水ハウス株式会社 広報部  
（大阪）TEL 06-6440-3021 （東京）TEL 03-5575-1740  
（本社）大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

## ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」第28回 真っ暗の中の書初め 概要

- 開催場所 : グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル4階 (大阪市北区大深町3番1号) 積水ハウス「SUMUFUMULAB (住ムフムラボ)」
- 開催期間 : 2020年1月6日 (月) ~1月27日 (月)  
<一期一会の回<sup>※1</sup>> 1月10日 (金)、16日 (木)、23日 (木)、24日 (金)  
木 17:00~ / 金 12:30~  
※1 DIDの魅力の一つ「初対面の人ととても仲良くなれる」を感じられる体験として好評を得ている、ひとりで申し込む方が集う「一期一会」ユニットを、4回限定で開催します。
- 参加料金 : 大人3,500円/学生2,500円/小学生1,500円 (税込)
- チケット発売 : 2019年12月5日 (木) 正午~
- 定休日 : 火曜日・水曜日
- 所要時間 : 70分程度
- 参加人数 : 各回6人まで
- 申込方法 : 予約状況確認・申込はWEBから <http://www.sumufumulab.jp/did/>
- 「対話のある家」お問い合わせ事務局 : 0120-39-9683 (11:00~18:00 ※土日祝日除く)

さらに今年は、積水ハウスが運営する「絹谷幸二 天空美術館」とのコラボレーションイベント「暗闇と色彩をめぐる」を、2019年12月1日 (日) から2020年1月27日 (月) まで開催。「暗闇」と「色彩」という対極にある2つの世界を両方体験する事で、五感が刺激されてイメージーションがより広がります。両施設を体験した方にオリジナルグッズをプレゼント。

「絹谷幸二 天空美術館」 <https://www.kinutani-tenku.jp/>

### 積水ハウスとDIDの共創プログラム「対話のある家」について

積水ハウスは「生涯住宅」の思想のもと、長年にわたり「スマートユニバーサルデザイン」などの研究活動を続けてまいりました。その一環として、「感じる力」「関係性の回復」「多様性を認める」を目的に、対話する場を提供し続けるDIDとの共創プログラム「対話のある家」を実施。「純度100%の暗闇」の中で、住まいにおける様々な生活シーンを体験し、日常では得られない気づきやコミュニケーション向上の機会を広く提供します。

さらに、ブランドビジョン「SLOW & SMART」を実現する、住まいの快適性を深化させる研究にも活かしてまいります。



見て触れて楽しめる  
「DID 対話のある家」の展示コーナー

### <これまでの開催実績>

- 開催日数 : 2013年4月26日から開始、開催日数は計1059日間 (2019年8月26日現在)
- 参加者数 : 20,714人/性別 : 男性38%、女性62%
- 年代 : 10代以下9%、20代28%、30代26%、40代23%、50代11%、60代以上3%
- お正月、夏休み、クリスマスなど、季節ごとに毎回異なるプログラムを開催。体験するたびに新しい発見が得られるとの声も多数いただいております。

### <体験者の声>

- 「人のあたたかさを感じる体験」でした。心があたたかくなりました。(40代 女性)
- 人とのつながり、物とのつながりで安心感を覚えました。一言で表すと「大事なことは目に見えない」でした。(20代 男性)
- 自分は人に助けられて生きていると感じた。人の声の優しさに助けられた気がします。(40代 女性)
- 声を出して伝えること、さわってみること、耳をすますこと、日常生活でおざなりにしてきたことを大切にしたいと思える貴重な体験でした。(30代 女性)